

家は一生に一度の出会い

その家と一生付き合つていけるか
よりそつていけるか
そんな家づくりのなかを見て下さい。



子育て世代の家設計

第1弾

知っていますか？

絶対に確認すべき3つの性能

家づくりを考えるとき、デザイン性が気になりますよね。では、その家の性能はどうでしょうか。建てたものの、夏は蒸し暑く、冬は寒くて不快、結露が発生する…など「住み心地」で失敗しては元も子もありません。今回は、「性能の良いお家」を正しく判断するためのポイントを親和建設さんに教えていただきました。快適さと安心安全の為の3つのポイントを知り、家選びの基準にしてみてはいかがでしょうか。

01 断熱性能

「UA値、Q値」とは？

基準!!
HEAT20
G1・G2
グレード



「家の表面」のみから
熱がどれだけ逃げているかを
表す数値。



「家の表面」と「換気」から
熱がどれだけ逃げているかを
表す数値。

02 耐震性能

「耐震等級」とは？

基準!!
等級3相当
+ 制震
ダンパー



阪神・淡路大震災相当の
地震でも倒壊しない程度
一般の住宅の
耐震性能



病院や学校等
避難所となる建物の耐震性
1.25倍



消防署や警察署等の防災の
拠点となる建物の耐震性
日本最高レベル
1.5倍

03 気密性能

「C値」とは？

基準!!
実測平均
0.5cm²/m²

C値とは、延床面積あたりの隙間量=隙間の面積のことです。

C値が低い=気密性能が高いとこんなメリットが

01 光熱費を節約 (省エネ)



- 冷・暖房効率が高い
- 快適な室温を長く保てる

02 結露の防止



- 外部からの湿気の侵入を防ぐ
- カビ・ダニの発生も抑制

03 健康への配慮

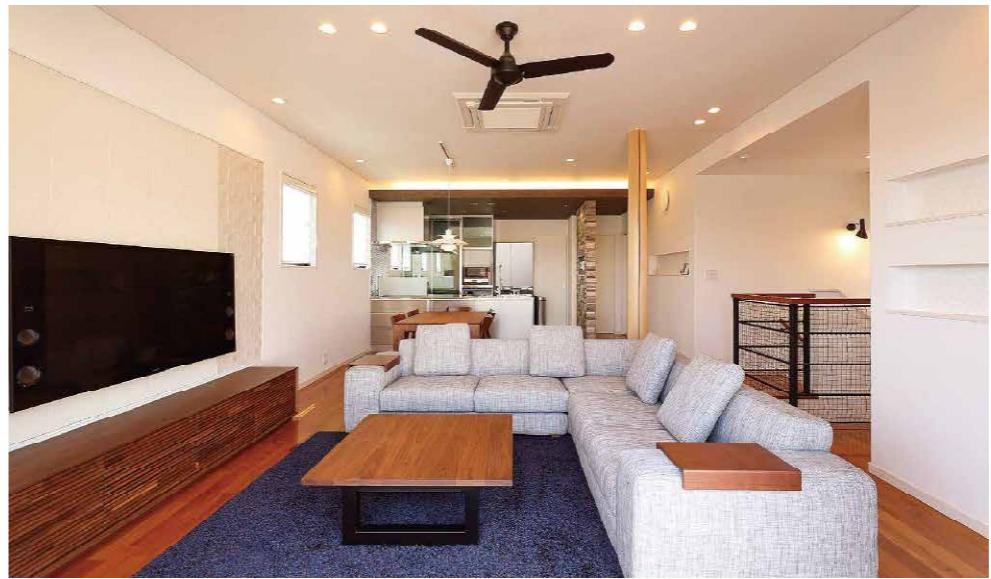


- 室内の温度差が少なく快適
- ヒートショックなどを低減

04 遮音性の向上



- 外部の騒音を遮断
- 室内から外部への音漏れ防止



3つの確かな性能 + デザイン 親和建設の家



贅沢なまでに開放的。吹き抜け玄関のある高級モダンな家

Type Modern H様邸 [倉敷市]

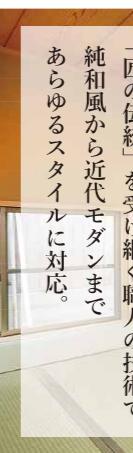
土地探しをはじめてから約5年の月日をかけて親和建設との出逢いをはたしたH様ご夫婦。あらゆる不動産、ハウスメーカーをリサーチし、親和建設にした決め手は担当者の対応力と信頼できる人柄。そして、自分たちの好みを細部まで理解し、提案できるデザイン力だったそう。

H様邸は奥様が経営するヘアサロンを併設しており、玄関は2か所。リビング横の扉からもへ

アソコンへ行き来できる独特の間取りを実現。玄関には高い吹き抜けと大きく切り取られたガラス窓。その窓からは癒しの常緑樹を眺めることも。ご夫婦好みの「高級モダン」を体現しつつ、主婦に欠かせないキッチン動線、背面収納も充実。贅沢なまでに開放的な空間は見栄えだけではなく、住み心地の良さを兼ね備えている。



一級建築士による完全自由設計で
「デザインと住み心地」を
兼ね備えた家づくりをご提案。



「匠の伝統」を受け継ぐ職人の技術で
あらゆるスタイルに対応。



「夢」をかたちに、創業40年。



親和建設
the future has begun from drawing

〒710-0261 倉敷市船穂町船穂1468-1
TEL/086-552-4585 営業時間/9:00~18:00
定休日/年中無休



CONCEPT

私たち親和建設は、建築を通じ地域の人々と密接な信頼関係を築いています。その大きな理由はプランニング段階での提案力です。数限りない建築工法・素材のそれぞれを充分に理解し、その中からプランニングに最も適したものを見出し、実行する技術力で、理想の住空間を創造します。お施主様のご要望に応じた家づくりで、「暮らしが明るく、楽しく、豊かになる独創的空间づくり」をご提案致します。



親和建設さんに聞く
子育て世代の家設計

#2

断熱性のいい家って？

「冬は暖かく、夏は涼しい快適な家」
△連載でご紹介／
絶対に確認すべき3つの性能①断熱性能②気密性能③耐震性能

本当?
それって

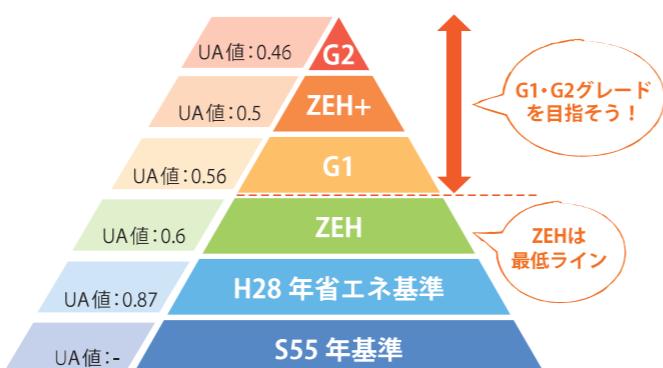
断熱性能がいい家って何？

断熱性が高いと、冷暖房で快適にした室内の空気が逃げにくく、外の暑さや寒さを伝えにくいので、快適な室温を効率よく長く保つことができます。部屋間の温度差も必然的に少なくなり、ヒートショック等の健康面でも効果的です。

日本の家は寒い！？

実は日本の住宅は他の先進国と比べて断熱性が低く、高断熱をうたっていっても、その基準自体が低いことが多いのです。日本では、昭和55年に省エネ基準が制定、その後改正され現在は平成28年の基準で運用されています。また、近年では政府がZEH(Net Zero Energy House)を推進しています。しかし、住宅選びの際よく目にするこのZEHですが、断熱性でいうとそれほど高い基準ではありません。断熱性を重視するのであれば、HEAT20が提唱するG1・G2グレードの水準を目指しましょう。

-断熱性・省エネ基準ピラミッド-



※6地域(岡山市・倉敷市等)におけるUA値

UA値とは、家全体の外部に面している面積(外皮面積)に対して、どれくらいの熱量が外に逃げているかを表した数値で、低ければ低いほど、断熱性能が高いということになります。

年代別に見る断熱性能比較



昔 -昭和55年基準-

エアコン暖房の部分と天井近くだけが、温かくなっているが、部屋全体を温めるのに相当な熱容量と時間が必要になります。



今 -平成28年基準-

S55年基準と比べると、部屋全体が温まっているものの、窓廻りや壁・床・天井がまだらになっており、熱が逃げていっている様子が分かります。



未来 -HEAT20G2-

部屋全体が温まっており、部屋内の上下間の温度差も少ないことがわかります。窓ガラス面からも熱が逃げづらくなっています。

こんなに違う！今までの家とこれからの家

今までの省エネ基準の家と、これからG1・G2グレードの家を比較してみましょう。

冬の室内温度

省エネ性能

岡山市・倉敷市等 (6地域)	最低の体感温度	暖房負荷削減率
HEAT20 G2 の家	おおむね 13°C を下回らない	省エネ基準の家より 約50%削減
HEAT20 G1 の家	おおむね 10°C を下回らない	省エネ基準の家より 約30%削減
省エネ基準 H28 の家	おおむね 8°C を下回らない	省エネ基準の家

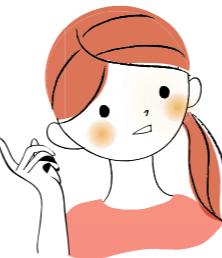
※部分間歇暖房の計算に基づいています。

※暖房負荷とは、対象となる空間を暖房するために必要な熱量のことです。

POINT

断熱性はHEAT20 G1・G2グレードで選ぼう！

断熱性能は比較できる基準があまりないため、「高性能な断熱材を使用していますよ」等の表現が多く見られます。このような曖昧な言葉ではなく、明確な基準で選びましょう。



HEAT20 G1・G2グレードって何？

HEAT20とは、「2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会」Investigation committee of Hyper Enhanced insulation and Advanced Technique for 2020 houses. の略称であり、呼称です。簡単に言うと未来を見据えて更なる省エネ化を図る為に集まった研究者、住宅・建材生産者の有志の団体です。人間が健康で快適に豊かな生活をおくる為に本当に必要な性能レベルを考えているのが、このHEAT20で指標とされるG1・G2グレードです。ZEH基準のUA値0.6W/(m²·K)を超える基準で、今後はこの水準が当たり前の時代になってくるといわれています。

HEAT20の家づくりは、ただ単に断熱材を厚くしたり、高性能な断熱材を使用するだけでなく、この地域のこの場所にこの家を建てたら、どのくらいの温度環境になるのかを事前に予測して進めることで、質の高い住宅を実現します。



親和建設さんの高断熱な家

しんわの家はG1・G2グレードの断熱性能を標準としています。そして、断熱性能のいい家にするには、施工が大きくかかります。一級建築士による自社設計、大工職人を抱える自社施工の親和建設さんだからこそ高品質な高断熱住宅が実現します。

HEAT20の賛助会員は
岡山で2社だけ！

家は一生に一度の出会い
その家と一緒に生きていくか
よりそっていけるか
そんな家づくりのなかをみてください



NEXT 次回は光熱費の節約、健康的な家に欠かせない
気密性能についてご紹介します！お楽しみに！

「夢」をかたちに、創業40年。

親和建設
the future has begun from drawing

〒710-0261 倉敷市船穂町船穂1468-1
TEL/086-552-4585 営業時間/9:00~18:00
定休日/年中無休 [親和建設](#) 検索



CONCEPT

私たち親和建設は、建築を通じ地域の人々と密接な信頼関係を築いています。その大きな理由はプランニング段階での提案力です。数限りない建築工法・素材のそれぞれを充分に理解し、その中からプランニングに最も適したものを見出し、実行する技術力で、理想の住空間を創造します。お施主様のご要望に応じた家づくりで、「暮らしが明るく、楽しく、豊かになる独創的空间づくり」をご提案致します。